

2020年度 市川市シニアリーグ開催及び感染症拡大防止 特別要綱

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 1 主催 | 市川市サッカー協会 |
| 2 日程(※) | [リーグ戦] 2020年7月～2021年3月 |
| 3 会場 | 国府台スポーツセンター／国分川調整池緑地多目的広場 |

－ 大会 特別 要 項 －

- | | |
|-------------------------|--|
| 1 試合ルール | 日本サッカー協会規定を適用する。 |
| 2 試合時間 | 50分ゲームとする。(25-10-25) |
| 3 選手交代 | 交代選手は人数制限なく自由交代とする。 |
| 4 試合成立人数 | 試合開始時間に9名以上とする。 |
| 5 試合球 | 公認5号球を各チーム2球持ち寄ること。 |
| 6 メンバー表及び
感染症チェックシート | [1] 試合開始【1時間前】に感染症拡大防止の公式ガイドラインに沿う
メディカルチェックを行い、名簿シート1枚を会場チーフへ渡すこと。
(マネージャーズミーティングは無しとする)
[2] チーフ待機場所(ピッチ外グラウンド中心)にて対戦2チーム、審判
員はメディカルを受ける。
※メディカルチェックは会場チーフ担当チーム、リーグ委員長、副
委員長が協力して行う。
※メディカルチェック時に37.5℃以上の熱があった場合は速や
かに帰宅を促す。
※遅刻などの理由でメディカルチェックが受けられない場合は試合
に出場できない。
※人命に関わる事項となるため、各チーム参加選手の徹底した管理
を実施する。 |
| 7 審判員(※) | [1] 4級審判員以上の資格を持った登録された者3名が行い、審判服は必ず着
用する。
※本年度より第4審判を設置する。(服装は黒、登録カードは次年度
より提示) |
| 8 会場チーフ | 各会場にて割り当てられた第一試合の左側チームが行う。 |
| 9 競技方法 | 各リーグ戦は8チームにて行う。 |
| 10 その他(※) | [1] 市川市サッカー協会感染症対策セット(検温器・消毒液・除菌洗剤・
マスク)の用意有り。
※選手個人、各チームで感染症の自衛を含め、各々でも感染症防止
備品の準備をすること。 |

- [2] 試合前後の整列、握手を行わない。
※試合前時に両キャプテン、主審のみ集まり陣地を決定する。
- [3] 選手はキックオフ前にベンチより各ポジションに配置し準備する。
- [4] 選手はタイムアップ時にその場からベンチへ引き上げ後、荷物置き場まで即撤収する。
- [5] ベンチ内の監督、控え選手はソーシャルディスタンス（2m）を必ず守り、長イスで密着しない。
※ベンチ内は全員マスクの着用を義務とする。但し、出場選手、審判は着用を自由とする。
※試合終了後、両チームは使用したベンチを消毒する。
- [6] 熱中症対策も含め、飲水タイムは前半・後半の途中で主審の指示にて行う。
※飲水用の容器は選手個人専用、審判員専用の水筒を一人1本準備する。
※飲水用のペットボトル、氷単体、クーラーボックスは持ち込みを禁止する。
- [7] リーグ戦参加資格について、市川市サッカー協会シニア委員会に登録している選手に限る。（追加選手を含む）
- [8] 各チームの荷物置き場は、会場内でチーム同士が近づかないようにする。（チーム内の距離含む）

－ 罰 則 と そ の 処 置 －

- 1 出場の停止 **スライティングや後方からのチャージ**などの危険を伴うプレーは原則禁止する。
- 2 悪質行為 悪質な行為をしたチーム及び選手は、規律委員会で審査し運営委員会へ報告後、その処置を決める。
- 3 未登録者の発覚 未登録者の出場が発覚した場合は、規律委員会で審査し運営委員会へ報告後、その処置を決める。

－ そ の 他 の 注 意 事 項 －

- 1 会場準備は第1試合の両チームで行い、後片付けは最終試合の両チームで行うこと。
※**会場準備2チームと後片付け2チームは全ての備品用具を消毒すること。（トイレ・水道含む）**
※**国府台スポーツセンターに於いては消毒範囲を施設に要確認すること。（更衣室含む）**
- 2 試合の中止・延期は無いものとする。但し、大雪・大雨等の悪天候の場合は、協会及び委員長・会場チーフの判断で前日までに中止の決定をすること。
- 3 会場チーフは、円滑な運営をする為に、会場に於いて試合を除くその他のことについてのあらゆる決定権をもつものとする。尚、その決定に従わないチーム・選手は悪質な行為とみなし、規律委員会にかけることとする。

- 4 チーム間でユニフォームが決定しないときは、会場チーフがコイントスで決定し、各チームはこれに従うこと。
- 5 試合中にケガ人や病人等が発生した場合は、会場チーフがチーム代表者の要請により救急車を要請すること。
- 6 国分川調整池多目的広場の野球場側は審判担当チームからボール防御者を4名以上配置すること。
- 7 国府台スポーツセンターに限り、ドクターヘリの離発着がある際には速やかに試合を中断し、スタンドに移動すること。

以上